



河北町立北谷地小学校

令和8年2月28日

学校運営協議会だより



来年度に向けての意見交換

2月19日(木)に、第2回学校運営協議会が開催されました。はじめに、「学校評価」の結果をもとに今年度の教育活動報告と、来年度の学校経営計画について提案を行い、その後、来年度に向けての意見交換を行いました。

学校評価では、「楽しく学校生活を送っている」が児童・保護者共に AB が93%を超えた。今年度は児童委員会の子どもの活躍により、いじめの案件が12件と少なかった。子ども達の関係が良好であったことで、話し合い活動や落ち着いて学習活動に取り組むことができた。複式学級2年目であったが、課題に対して子ども達の主体的な姿がみられるようになった。加えて少人数なこともあり、どんどん学習を進め、やるきことや目標を持って取り組むことができる子ども達に育ってきた。

来年度は、言語活動やICT機器の活用、地域素材を生かした学びなど、主体的・対話的で深い学びになるように力を入れたい。また、子どもが安心・安全の場でまなべるよう家庭と地域、学校が協働し合い、子ども達がたくましく育っていくように大

子ども達の様子について

- ・ 6年生を送る会を見て、素晴らしい子どもの姿を見せていただいた。担任の先生方の指導が子ども達の成長に生きていることが見てわかる。
- ・ 一人一人のメッセージの内容な特別な思いから出ていたもので、子ども達の温かい雰囲気の家でした。



【6年生を送る会】メッセージのプレゼント 6年生の出し物

企画運営に活躍した5年生

来年度の学校経営について

【経営の重点と方針】

- 自他を尊重し、やさしく思いやりのある心と行動の育成 **【豊かな人間性】**
- 課題を決め、多様な人と協働しながら課題を解決する学びの実現 **【探究的な学習の創造】**
地域の自然や文化などに触れたり体験したりすることで、ふるさとのよさを感じる教育活動の推進 **【生活科、総合的な学習、特活の充実】**
- 複式学級の教育実践と教育課程などの学校体制の構築 **【自己教育力の育成】**
- 健康指導の推進と生活習慣の確立 **【健康生活】**
- 危機回避能力の育成と安心・安全を生む環境づくりの徹底 **【危機管理】**
- 教育活動の精選と目的を共有した地域連携に取り組み、地域と共に歩む学校づくりの推進 **【地域連携】**
- 複数の目で校務分掌に取り組むことで学校経営に参画することやお互い様の気持ちを大事にした温かい職員集団の形成 **【チーム学校】**

来年度に向けての意見交換

- 学校で稲作活動をしてるが、児童数減少で、単学年で作業を行うのには大変になっている。北谷地構造改善センターと事業協力をして、進めていきたいと考える。午前に活動していたのを午後を実施し、多くの方に手伝ってもらう体制を整えることと、学校行事、複数学年で組みみたいと考えている。
- 1・2年生が参加していた老人クラブによる小正月行事も大変すばらしい体験活動で、これからも継続していきたい。
- 13年度以降の北谷地小学校の活用について、地域から「こんなことをしたい」などと、アイデアが出されると良い活用方法が見つかるのではないかな。
- 複式学級になると教職員の人数も少なくなる。地域との連携が一層大事になり、地域と共に歩む学校づくりが求められてくる。
- 西部小との交流活動について、1・2年生は以前から行っていた。令和5年度より全校的に実施している。内容は、合同で授業を行ったり仲間づくり活動をしたりしている。令和8年度には修学旅行や自然家体験学習等、合同で行うことを検討していく。
- 学校評価の保護者の声に、「おさがり会」（体育着などのリサイクル活動）を実施してみてはとあったことを踏まえ、PTA活動でできないものか検討していくことになった。

たくさんのご意見ありがとうございました。地域の皆様の温かいご支援とご協力に感謝し、学校・地域・家庭がつながり合って教育活動を進め、子ども達の力を高められるよう努めてまいります。

